

恋歌

和田文雄 詩集

土曜美術社

詩集 恋歌

著 者 和田 文雄

発行者 笛木 利忠

発行所 土曜美術社

装 幀 居島 春生

東京都新宿区市ヶ谷藥王寺町八二―三〇五

下一六二 電話〇三(二三五)六七二六

振替 東京七・九九二九二

発行 昭和六十三年五月二十日

定価 二五〇〇円

ISBN 4-88625-169-2 C0092 ¥2500 E

詩集
恋
歌

和田
文雄

土曜美術社

恋歌

恋歌・目次

I

窓辺そして海 12

夜更け 16

青いろの川 20

酔いの醒めて 24

陰陽のさだめ 26

海底からの輝き 28

花の枯れて 30

追憶 34

塘にて 38

過ぎた日 42

爐 46

鳩無情 50

橋 54

古巢 58

木ぬれ陽 62

草いきれ 66

花 70

塘にて 72

沸々たるもの 74

辿る 76

異形の人 78

曳船 80

異形の結界 82

執着 84

形象 86

黯い雨 88

冬の日 90

無雑な夜 92

残像 94

時の失せて 96

II

雪降りしきる	100
冬のかげろう	102
寒い夜	106
徘徊	108
坂の道	110
匂い	112
新たな臆病	114
寒燈	116
蹲る	118

眠り	驟雨	時間	無聊	火群ら	期待	安堵する	冬の蒼空	下燃え
136	134	132	130	128	126	124	122	120

I

窓辺そして海

高楼からの遠望に

海辺入江となって

埋めたてられるでもなく

残ってよどみ

地上につき立った

空間の窓辺から

潮がひいた海は

暗い際限のない語らいを

打ちあげて

地上に

かすかな潮のにおいをとどけた

星の光の位置がかわって

窓辺の塑像のような

かの人のところは

かすかにゆれて

暗い海のなみの音を

すいこんでひろがった

ああこの人はもう

この暗い海のうねりが

空間をよぎって

とだえることのない

脈絡をもった自信の

まなこを向けて

ひとつの芽生えのような

ところを育てた

窓辺にかく

そして暗い海に

つながった地上

ひとつのことばも

必要としない芽生えに

寒い星のいろのこぼれ

なみだのこぼれ

芽生え

はぐくむ

